主な予算の概要

※数字は事業費「単位：千円」

親も子も笑顔に！

●「くまキッズ」4月オープン！
（子育て支援・保健拠点施設管理運営経費）

241,576

こども館、保育所、保健センター、休日・夜間急患診療所等の機能を集約した「くまキッズ」を令和８年度に開設し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。



「くまキッズ」４月オープン！

●小学校給食費無償化事業

451,782

小学校の給食費について、国の制度に基づき、令和８年４月から無償化することにより、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。

●物価高対応中学校給食費支援事業

37,782

中学校の給食費について、食材費の高騰に伴う令和６年度の給食費改定分を支援することにより、子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。

●小学校・中学校体育館空調設備整備事業

1,245,000

児童・生徒の教育環境の充実と災害時の避難所環境の改善を目的に、順次、小中学校の体育館の空調整備及び断熱改修を進める。令和８年度は、小学校６校、中学校４校の工事設計を行う。



●母子保健事業

160,495

乳児の健康管理や病気の早期発見につなげるため、新たに生後１か月児に対する健康診査の費用の一部を助成する。

●熊谷運動公園子供広場整備事業

19,000

令和７年度に整備したじゃぶじゃぶ池で親子がより楽しく快適に過ごせるよう、日陰施設を設置する。

スポーツ・観光を通じて魅力のあるまちへ

●プロスポーツチーム等連携事業

4,875

本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等と連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや新たなにぎわいの創出を図る。令和８年度は、各チームのデザインをあしらったマンホール蓋を作製し、チームの本拠地周辺等に設置する。

●荻野吟子知名度向上事業

4,409

日本で最初の公認女性医師となった郷土の偉人「荻野吟子」の功績を顕彰し、知名度向上を図るとともに、本市の魅力発信につなげる。



●アニメコラボレーション実施事業

3,466

アニメキャラクターとコラボレーションしてスタンプラリーなどのイベントを開催し、誘客と市内周遊による観光を促進する。



やさしい安心のまちへ！

●総合交通体系整備促進事業

295,184

利便性の高い公共交通ネットワークの形成や維持のため、コミュニティバスのほか、妻沼地域において乗合型ＡＩオンデマンド交通を運行する。

●まちなかウォーカブル推進事業

15,100

居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを推進するため、官民一体となったにぎわいのある歩行者空間の創出を目指す。令和８年度は、星川通り周辺の滞留空間の整備のほか、星溪園活用社会実験として雲海ミストや屋外ライトアップなどを行う。

●生活道路及び排水路の整備の推進

1,536,009

生活道路の側溝整備や舗装新設・補修、排水路の整備・修繕等、自治会等から要望の多い生活環境の改善を引き続き進める。

活力ある産業のまちへ！

●農産物ブランド化推進事業

12,566

ブランド認証制度による市産品の更なる価値向上に向け、新たな加工品等の開発を促すとともに、市内外に熊谷ならではの農産物の魅力を伝える取組を行う。

●元気な農業支援事業

10,000

農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の維持、確保とともに、農作物の安定供給を図るため、農業者が新たに購入する農業機械の費用の一部を補助する。

●企業誘致セミナー事業

2,577

本市の中心市街地のオフィス需要を喚起するため、都内などに拠点を置く企業を対象に、本市の特性や進出することによるメリットなどをＰＲするセミナーを実施することで、企業の誘致の推進を図る。

●池上地区「道の駅」整備事業

1,818,639

「食×子ども」を設計コンセプトとした道の駅を整備する。令和１０年３月のオープンに向け、建設工事と外周道路の工事を行う。



一般会計歳入歳出予算款別比較表（歳入）



一般会計歳入歳出予算款別比較表（歳出）



地方行政視察報告

2025.7.7～2026.2.10

2025.7.7（月） 石垣市





「石垣市役所」　市役所建設について

本視察では、新庁舎の整備背景や事業手法、施設機能について説明を受けた。特に、防災拠点としての機能強化が重視されており、災害時における業務継続性の確保や、市民の避難・支援拠点としての役割を担う設計となっていた。また、来庁者の利便性を考慮した窓口配置や動線計画が工夫されており、市民サービス向上への配慮が随所に見られた。隈研吾氏が設計された石垣市らしい外観が素晴らしかった。さらに、自然エネルギーの活用や省エネ設備の導入など、環境面にも配慮されている点が印象的であった。今後の熊谷市における庁舎整備においても、防災機能と市民サービスの両立を図る視点が重要であると感じた。

2025.7.8（火） 名護市





「名護市役所」　小中一貫校について

本視察では、小中一貫教育の導入背景や運営体制、教育効果について説明を受けた。特に、9年間を通じたカリキュラム編成により、学習内容の重複や断絶が解消されている点が印象的であった。また、教員間の情報共有が密に行われており、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導が実現されている。施設面においても、校舎の一体化により児童生徒の交流が促進され、心理的な進学不安の軽減につながっている。今後の熊谷市においても、人口動向を踏まえた教育環境の再編や一貫教育の導入研究が必要であると感じた。

2025.7.8（火） 沖縄市





「沖縄サントリーアリーナ」　現地視察

施設の整備背景や運営手法、地域への波及効果について説明を受けた。特に、プロスポーツを核とした集客力の高さと、それに伴う周辺商業施設や宿泊施設への経済効果が大きい点が印象的であった。また、民間ノウハウを活用した運営により、イベント誘致や稼働率向上が図られており、施設の収益性確保にも取り組んでいる。地域住民向けの利用機会も確保されており、公共施設としての役割も果たしている。今後の熊谷市においても、交流人口の創出と地域活性化を見据えた施設整備のあり方を検討する必要があると感じた。

2025.7.9（水） 豊見城市





「道の駅 豊崎」　道の駅現地視察

空港近接という立地を活かし、観光客の導線上に位置付けられている点が大きな強みであると感じた。施設内では特産品の販売に加え、観光情報の発信やイベント開催など、多様な機能を持たせることで来訪者の滞在時間を延ばす工夫がなされていた。また、周辺施設との連携によりエリア全体で集客力を高めている点も参考となる。熊谷市においても、立地特性を踏まえた戦略的な道の駅整備が重要であると感じた。

2026.2.9（月） 東海市

愛知県東海市「引きこもり支援について」

引きこもりが社会問題として表面化せず、法的・制度的根拠がない中で、市社会福祉協議会に「引きこもり相談窓口」を設置。
その後、更に支援体制を構築するため、引きこもり支援検討委員会を設置し、東海市引きこもり施策基本指針を策定。引きこもり支援における課題、支援体制の方向性を明文化した。引きこもりを支援が必要な社会問題と捉え、所管を横断的に連携し「ほっとプラザ」を開設した。本市においても状況を把握し、支援の体制を図っていきたい。





2026.2.10（火） 安城市

愛知県安城市「部活動の地域移行について」

生徒が興味あるものに、幾つでもチャレンジできるようにしたいとの願いを込めて、部活動の地域展開を進めていた。部活動は平日のみとし、全ての大会やコンクールへは参加しない。令和9年度からは、サークル型部活動となる。今後の課題は、中小体主催大会の運営方法、地域クラブへ参加するための個人費用負担、地域クラブ団体への補助金等の支援、活動場所のセキュリティ対策、指導者の確保等。本市では、令和3年度より休日の部活動を地域人材や団体へ移行するモデル事業を実施しており、令和5年度には富士見中を拠点とした陸上・剣道部の地域連携実証が行われました。現在は市内4校で段階的な移行と、持続可能な運営体制、費用負担の検討を行っている。





熊谷清風会・維新 メンバー

2026年3月時点



小鮒　賢二 議長
こぶな　けんじ　70歳　3期目
上之地区　成田星宮小学校区
熊谷市総合振興計画審議会委員
熊谷市消防賞恤金等審査委員会委員
熊谷市民生委員推薦会委員
熊谷市環境審議会委員
熊谷市農業振興対策委員会委員
熊谷市商工業振興対策委員会委員
熊谷市被表彰者選考委員会委員
熊谷市新庁舎建設検討委員会委員



影山　琢也 会派代表
かげやま　たくや　54歳　3期目
大幡地区(柿沼)
会派　熊谷清風会・維新　代表
新庁舎建設に関する調査特別委員会　委員長
総務文教常任委員会　委員
熊谷市都市計画審議会　委員
熊谷市人権教育推進協議会　委員
熊谷市スポーツ協会　参事
熊谷市大幡公民館運営協議会　顧問
熊谷市大幡小学校PTA　会長



富岡　信吾
とみおか　しんご　55歳　7期目
江南地区(樋春)
議会運営委員会　委員長
都市建設常任委員会委員
熊谷市環境衛生協議会委員



須永　宣延
すなが　よしのぶ　74歳　5期目
妻沼地区(善ヶ島)
環境産業常任委員会委員



千葉　義浩
ちば　よしひろ　43歳　3期目
籠原地区(籠原団地)
市民福祉常任委員会委員
新庁舎に関わる調査特別委員会委員
熊谷市スポーツ推進審議会委員
熊谷市国民健康保険運営協議会委員
熊谷市空家等対策協議会委員
熊谷市三尻中学校PTA会長



田中　正
たなか　ただし　64歳　2期目
大麻生地区(大麻生)
議会運営委員会
市民福祉常任委員会　副委員長
新庁舎建設に関する調査特別委員会
熊谷市高齢社会対策審議会委員
熊谷市地域福祉活動計画推進委員会委員



川田　勝巳 副議長
かわた　かつみ　67歳　1期目
妻沼地区
都市建設常任委員会委員
熊谷市都市計画審議会委員
熊谷市総合振興計画審議会委員
熊谷市水道事業運営審議会委員
熊谷市下水道事業運営審議会委員
大里郡利根川水害予防組合議会議員



田中　純一
たなか　じゅんいち　44歳　1期目
別府地区(別府)
環境産業常任委員会　委員長
議会運営委員会委員
新庁舎建設に関する調査特別委員会
籠原中央第一土地区画整理審議会委員
熊谷市環境審議会委員
熊谷市農業振興対策委員会委員
大里郡利根川水害予防組合議会議員
熊谷市立別府小学校PTA会長



山本　絢女
やまもと　あやめ　47歳　1期目
吉岡地区（村岡）
都市建設常任委員会委員
熊谷市都市計画審議会委員
熊谷市被表彰者選考委員会委員

熊谷清風会・維新とは?

熊谷市議会会派。
9名のメンバーで構成。
熊谷市議会最大会派。
それぞれのメンバーの得意分野を活かし、さまざまな角度・方向から市政のチェック、対応、提案を行っております。

発行　熊谷清風会・維新　熊谷市柿沼991-2　TEL 048-522-5240　発行者：影山 琢也

熊谷市議会 熊谷清風会・維新 が



VOL.4

市政をお知らせ

一般会計 803億円 の 令和8年度予算案 が 可決 されました。

一般会計予算規模の推移（当初予算比較）　（単位：千円・%）

令和４年度	令和４年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	69,000,000	69,000,000	72,900,000	79,700,000	80,300,000
増減率	4.07	1.30	4.29	9.33	0.75

令和8年3月議会において令和8年度予算案が可決されました。

今年度予算は、第2次総合振興計画の後期基本計画に基づく施策を着実に推進するとともに、持続的に成長・発展する熊谷の未来のまちづくりに向け、まちの活性化や新たな経済活動の創出のための積極的な予算編成となっている。また、子育て家庭が安心して子どもを産み育てられ、子どもたちが健やかに成長できる地域社会の実現に向け、必要な施策に重点配分を行われている。一般会計については、物価高騰や賃金の上昇、増加する社会保障関連施策への対応に加え、北部地域振興交流拠点、（仮称）道の駅くまがや、第2中央生涯活動センター、樋春地区産業団地の整備などの熊谷の未来のまちづくりに必要な施設整備事業にも積極的な予算措置を行い、予算規模6億円増の過去最大の予算となった。また、小中学校体育館空調整備事業のほか、学校給食費支援事業など国の物価高対策に係る事業について、令和7年度3月補正予算へ前倒し計上を予定しており、令和8年度の実質的な予算規模は更に大きなものとなる。歳入については、地方税の増加が国において見込まれていることから、本市においても市税全体で約9億9千万円の増加を見込んだが、国では所得税や消費税などの税制度の改正が検討されており、本市の財政運営にも影響を及ぼすことも考えられるため、引き続き国の動向を注視しながら、堅実な財政運営を行っていく必要がある。子に予算案に対し、個別には課題はあるものの、総括的には可とし、予算案に賛成致しました。

熊谷清風会・維新